

在宅医療コーディネーター養成研修会（第6回）報告書

日時・場所	令和2年1月13日（月・祝）13:00～16:00 高松国際ホテル新館2階「瀬戸の間」
参加者	参加者113名 内訳：コーディネーター45名、委員等15名、医師14名、その他39名
内 容	<p>◆特別講演 テーマ：「地域包括ケアを切り拓く長崎の多職種協働と地域医療連携の実践 ～最期まで過ごせる地域づくり～」</p> <p>座長：大橋委員 講師：医療法人 白髭内科医院 院長 白髭 豊 先生（長崎県長崎市）</p> <p>◆授与式 ・修了者氏名・在籍施設名読み上げ ・代表者3名に①修了証書、②在籍証明書、③バッヂを授与</p>
結 果	<p>1 講演内容</p> <p>○在宅医療とはどのようなものか ○在宅医療が必要な背景について ○ACP の定義や実際の方法、一般の方々の認知度について ○長崎市の在宅医療の提供体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎市の現状 ・長崎在宅 Dr.ネット（在宅療養を望む患者に在宅医療の斡旋を行う）について →発足の経緯、業務内容、多職種との連携 ・あじさいネット（患者の同意のもと、インターネットを經由して、病院の診療情報を閲覧できるサービス）について ・長崎市包括ケアまちなかラウンジについて <p>○心不全の地域連携の重要性について</p> <p>2 アンケート結果より</p> <p>○アンケート回収数89（回答率67.9%） ○アンケート回答者の職種</p> <p>医師10名、歯科医師1名、薬剤師8名、看護師27名、保健師3名、介護支援専門員27名、介護福祉士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、歯科衛生士1名、精神保健福祉士1名、医療ソーシャルワーカー2名、訪問介護員1名、生活相談員1名、その他1名、未記入1名</p> <p>※アンケートの内容については、別紙参照。</p>